

常任委員会の審査から

9月7日、10日に総務水道、文教福祉、9月11日、12日に建設生活の議案審査が行われました。常任委員会での主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

総務・水道

◆一般会計歳入歳出決算の認定
広報よしかわの編集方針に変更はあるのか、市民の反応は。

編集方針に変更はないが、広報紙よりスピーディに情報が取得できるホームページに市民の目が向いていると感じている。

路線バス事業者に毎年要望していると考えるが、今年のも主な要望内容は。

今年、夜間や便数の増便などの要望を行った。

市民意識調査で、3・11の大震災後の市民意識に変化があったのか。

住みよさに関する質問で、「住みよい」という回答が8割以上あり、その理由として「災害が少ない」が多かったことから、災害の影響が大きかったと考えている。

定期監査報告書で指摘された入札制度はどのように改善されたのか。

一般競争入札を実施する建設工事の対象額を5千万円超から3千万円超に拡大した。

また、建設工事の一般及び指名競争入札において変動型最低制限価格制度を導入した。

歳出の不用額が多く、繰越金も11億円となっている。財政課はどのように取り組んだのか。

年度中に不用額が見込めるものについては補正予算に計上するよう指示している。今後も予算の減額が可能なものについては補正予算に計上していきたい。

たばこ税が増収となっているが、その要因は。

前年度と比較して約5千400万円の増収となっており、その要因は消費本数は減っているが、平成22年10月に40%の大幅増税されたためである。

賛成全員で認定

◆水道事業会計利益の処分及び決算の認定

水を供給するために要する費用に比べ、給水単価が低い、いわゆる逆ざやはいつからで、原因は何か。改善策は。

逆ざやは平成4年からで、原因は設備投資である。分担金の収入が無くなれば、いず

これは料金の値上げを考えていかなければならない。

賛成全員で可決及び認定

◆一般会計補正予算

備品購入費の内容は。

市庁舎に最低限の安全対策として2階屋上などに3台の避難はしごを設置、非常階段等整備するものである。

バス乗り場案内の設置場所はどこか。発着場所やコースなどわかりやすい表記を求めめる。

吉川駅の北口と南口に設置してある既存の街路案内板を利用して、バス事業者と行先コースなど番号を付して分かりやすい表記に努めたい。

賛成全員で可決

文教・福祉

◆一般会計歳入歳出決算の認定

災害時要援護者避難支援について個別計画の登録者数と今後の課題は。

登録者3千人を目指し、民生委員の協力を得て進めてきたが目標に届いていない。市が対象者とした者であっても、本人が不要であると考えられる場合も多いので、一層の周知が必要と感じている。

時間外保育事業の利用者数と、一時保育利用者数は。

時間外保育利用者数は、2ヶ所で75名である。一時保育利用者数は延べ100名程である。入所待ちの多くは0歳児から2歳児であり、3歳児くらいからは入所できる状況。

求職中を理由とした保育所の申し込み件数は。

4月1日現在10名であり、これらの方については個々に相談に応じながら一時保育等を活用いただいている。



吉川駅前に待望のバス案内板が設置される